

**2019年 12月期  
通期決算説明資料**



I .2019年12月期 通期業績報告

II .2020年12月期 経営戦略・通期業績予想

III .今後の中長期成長戦略

I .2019年12月期 通期業績報告

II .2020年12月期 経営戦略・通期業績予想

III .今後の中長期成長戦略

## 事業と組織の再構築を行い本業回帰による収益基盤の確保 と成長事業への集中投資を実施

- 本業は顧客単価の向上により売上高・営業利益ともに増加
- 成長率の高いメディア事業は売上高、前年同期比185%成長
- 上期実施のリスク資産の圧縮による損失を下期営業好調で大幅改善
- 期末配当5.5円による復配
- 来期に向けた新サービスを続々リリース

# マーケティングSaaS事業の概況

既存マーケティングSaaS事業は営業戦略の変更により単価向上と解約率が低下し、通期を通じて営業利益率が大幅に向上。成長分野であるFintech市場では、[e-KYC]オンライン完結型本人確認サービス分野での導入数NO.1を目指す

## 既存事業

金融機関の顧客を中心に積極展開したことによって顧客単価が向上し営業利益が前年同期比107%となった。



## 新サービス&Topics

オンライン完結型本人確認サービス『ProTech ID Checker』を11月にリリース

※特許出願中



シェアNO.1の入力フォーム支援ツール「フォームアシスト」を中心にブランディング強化



# 広告メディア事業の概況

動画広告とオウンドメディアが好調で広告メディア事業が前年同期比185%。

主力の「bitWave」での新型iphoneのオンライン販売による売上貢献の拡大と金融系メディアをリリース。

## 既存メディア

動画広告・SNS広告  
オウンドメディアの成長により売上高は  
前年同期比185%となった。

SHOWCASE Ad

ARVO

bitWave

GOLFサプリ  
by GOLF TODAY

## 新サービス&Topics

月間850万PVへ成長し、  
新型iphoneのオンライン販売による  
売上貢献度が拡大

ユーザーが利用している各キャリア、  
格安SIMにおいて最適な料金プラン  
がシミュレートできるサービス  
「SIMlator(シムレーター)」

「金融Lab.」身の回りのお金に関する  
情報をわかりやすく。をコンセプト  
にした金融系メディア



金融Lab.

# 2019年通期決算 業績ハイライト (セグメント別)

主力のマーケティング SaaS 事業は低収益サービスの停止を実施。顧客単価の向上、解約率の低下により売上高・セグメント利益が前年を上回る結果となった。さらに、成長性の高い広告メディア事業は売上高前年同期比185%と大きく業績拡大した。

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	営業利益率	
					2018年12月 通期	2019年12月 通期
マーケティング SaaS事業	1,041	100.4%	709	107.4%	63%	68%
広告メディア事業	377	185.1%	118	前年実績 ▲14	-	31%
HR事業	36	126.3%	▲4	前年実績 6	20%	-
投資事業	0	前年実績 351	▲69	前年実績 236	67%	-
その他	65	83.7%	31	62.4%	21%	47%

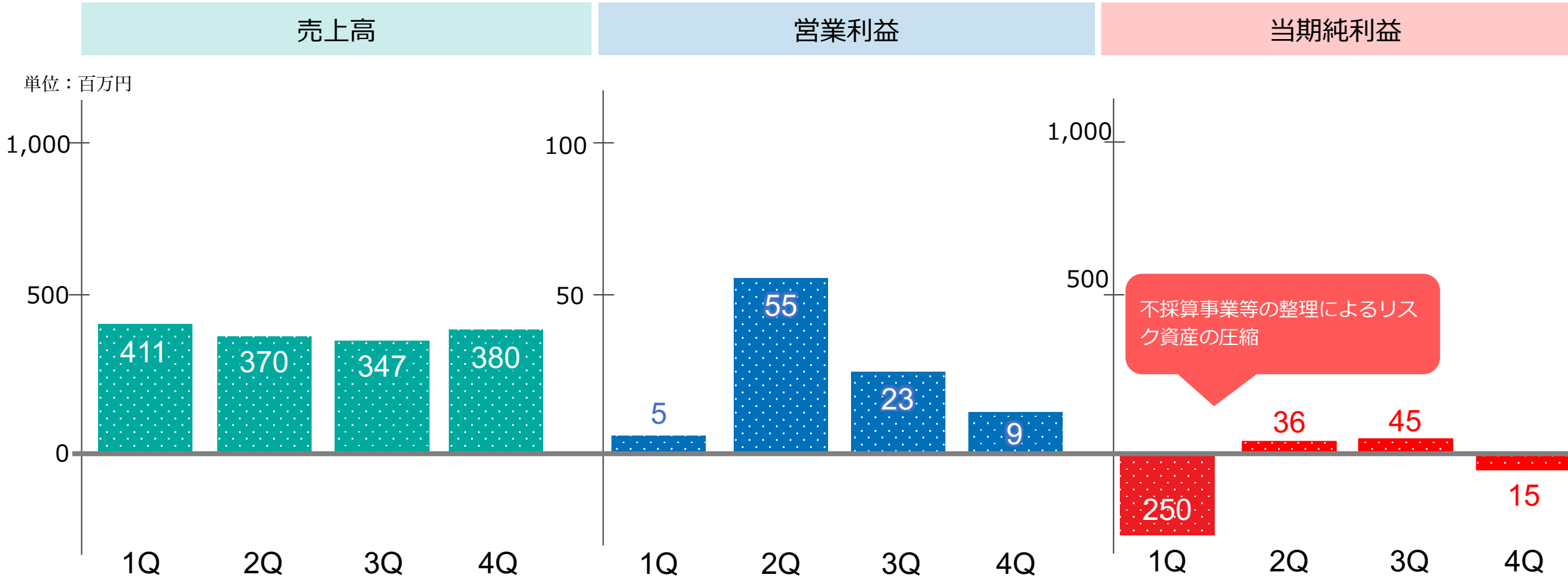
【事業セグメントの変更について】

単位：百万円

第二創業では、マーケティング SaaS 事業・広告メディア事業をショーケース、HR事業をレーザービーム、投資事業をShowcase Capitalが行うシンプルな体制としました。それに伴い株主の皆様にご理解頂きやすい、組織体制に合わせた事業セグメントへ変更いたしました。

# 2019年 12月期 通期決算（連結業績四半期毎）

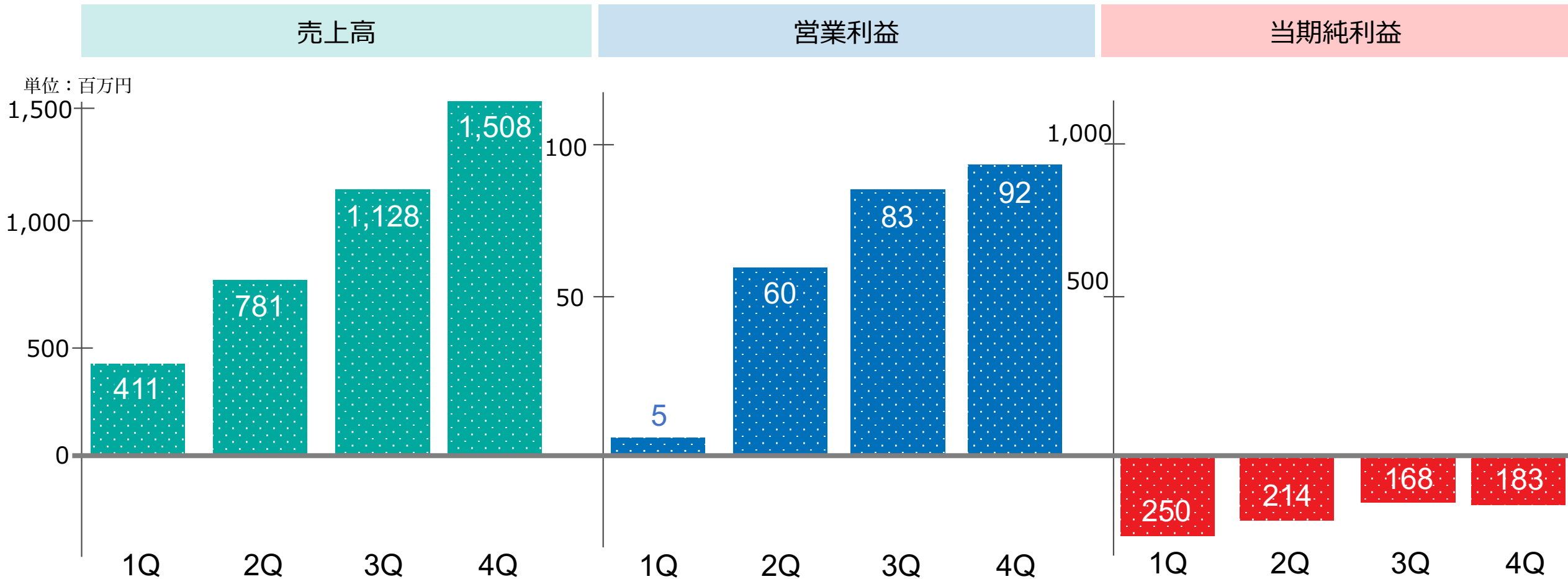
第1四半期に実施した不採算事業等の整理により当期純利益が赤字となった。  
本業の事業成長により、第2四半期以降は四半期毎の決算では当期純利益が改善傾向となった。





# 2019年 12月期 通期決算（連結業績累計）

第1四半期の減損処理と新事業の集中投資による累計赤字は大幅に改善。  
営業利益は期末業績予想を上回る黒字となった。



# 損益計算書・貸借対照表

連結通期決算によるEBITDAは159百万円。

連結貸借対照表は、減損処理等により「その他投資等」が大幅に圧縮。

連結損益計算書		
	2019年12月期 通期	2018年12月期 通期
売上高	1,508	2,002
総利益	1,112	1,478
販管費	1,019	1,125
営業利益	92	352
経常利益	▲14	17
特別利益	69	28
特別損失	126	258
EBITDA	159	568
親会社株主帰属純利益	▲183	16

単位：百万円

連結貸借対照表		
	2019年12月期 通期	2018年12月期 通期
流動資産	1,750	1,787
固定資産	478	748
有形固定資産	92	39
無形固定資産	97	113
その他投資等	287	596
総資産	2,228	2,535
流動負債	762	629
固定負債	516	724
純資産	949	1,181

単位：百万円

## e-KYC



① ProTech ID Checkerリリース



② 準グランプリ受賞



③ 強化サービスとする

① 11月にリリースした『ProTech ID Checker』はスマホのブラウザを通して本人確認作業を行うSaaS型のe-KYCツール。2018年11月に改正された「犯罪収益移転防止法」にも準拠しており、今後の市場拡大が見込まれる。

② 「日経×TECH EXPO AWARD 2019 準グランプリセキュリティ賞」をはじめ、経済媒体や業界媒体において注目を集め、銀行をはじめ複数社の導入が決定。

③ Fintech市場の成長とともに、強化サービスとして集中投資を行い、早期収益化を目指す。

I .2019年12月期 通期業績報告

II .2020年12月期 経営戦略・通期業績予想

III .今後の中長期成長戦略

## • **中核事業の成長戦略** 高収益領域への集中投資と新サービスのシェア拡大

-マーケティングSaaS事業：ビジネスモデル転換によるさらなる顧客単価の向上。Fintech市場におけるe-kyc分野で導入実績NO.1を目指す

-広告メディア事業：収益性の高いスマホ・金融分野に集中投資

## • **新規事業領域戦略** 強みを活かす事業領域を拡大（DX市場、ベンチャーキャピタル市場）

-クラウドインテグレーション事業：企業におけるDX支援

-投資事業：投資支援事業、投資家とスタートアップを繋げるマッチングプラットフォームの構築

# Business domain

## ・ EFO市場からLPO市場・アクセス解析市場へ事業領域拡大

主力事業のマーケティングSaaS事業は、成長を加速させるため、ビジネスモデルの転換でさらなる顧客単価向上を目指す。

金融業界を中心とした「サイト改善」を実現するコンサルティングサービスを実施。マーケティングにおけるデータ分析サービスを開始。

マーケティング  
SaaS事業



## 広告メディア事業

## ・ 高成長を維持する事業領域へ特化。収益性の高いスマホ・金融分野への積極投資

収益性の高いスマホ・金融系メディアの事業を拡大。高い成長性を維持しながら、ユーザーの「不」を解消する行動創出メディアを展開。

メディア事業ノウハウを多角化展開する積極投資により早期マネタイズ化を実現させる。



中核事業の成長戦略

## ・ クラウドインテグレーション支援事業

ショーケースの強みであるSaaSプロダクト開発ノウハウと大手企業の業務ノウハウを融合しデジタルトランスフォーメーション開発を展開。あらゆる業界へ向けSaaSサービスを積極的に展開し、市場構造改革が起こり始めたDX市場において、企業の情報システムのクラウド化を支援。

クラウドインテグレーション事業



新規事業創出

## 投資事業

## ・ 投資支援事業で投資家とスタートアップを繋ぐマッチングプラットフォームサービスの構築

事業成長を目指した新規事業を開始！国内外のスタートアップと投資家を繋ぐマッチングプラットフォーム「Smart Pitch」事業を展開。



# 2020年12月期 通期連結業績予想

成長性の高い市場に向けた商材・サービスへの集中投資により、売上高・利益ともに大きな成長を見込んでおりますが、当連結会計年度における業績数値については新事業の展開による収益の影響が大きいことを踏まえ、レンジ形式の開示となります。

## 通期連結業績予想

増収・増益・増配の見込み

	連結売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	配当金（年間）
2020年12月期 通期業績（予想）	1,700~ 2,000	100~ 180	100~ 180	60~ 108	6円
前年度比(%)	112~132%	108~195%	-	-	+0.5円増配

単位：百万円

## 参考

2019年12月期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績実績	1,508	92	▲14	▲183

単位：百万円

I .2019年12月期 通期業績報告

II .2020年12月期 経営戦略・通期業績予想

III .今後の中長期成長戦略



# おもてなしテクノロジー

「おもてなしテクノロジー」で、  
人を幸せにする。

テクノロジーの力を使えば、ユーザひとりひとりのニーズに合わせ、必要な時に、必要なものが提供される世界を作り出すことができます。

モバイルインターネット、AIなど先端テクノロジーによって、日本が世界に誇るおもてなしの精神を、

世の中の末端まで浸透させることができます。

これが私たちの「おもてなしテクノロジー」。

略して「おもテク」です！

私たちは、「おもテク」でいろいろな人を幸せにしていきます。

STRONG POINT



# FinTech × Cloud Marketing の支援企業

Marketing



Security



Media



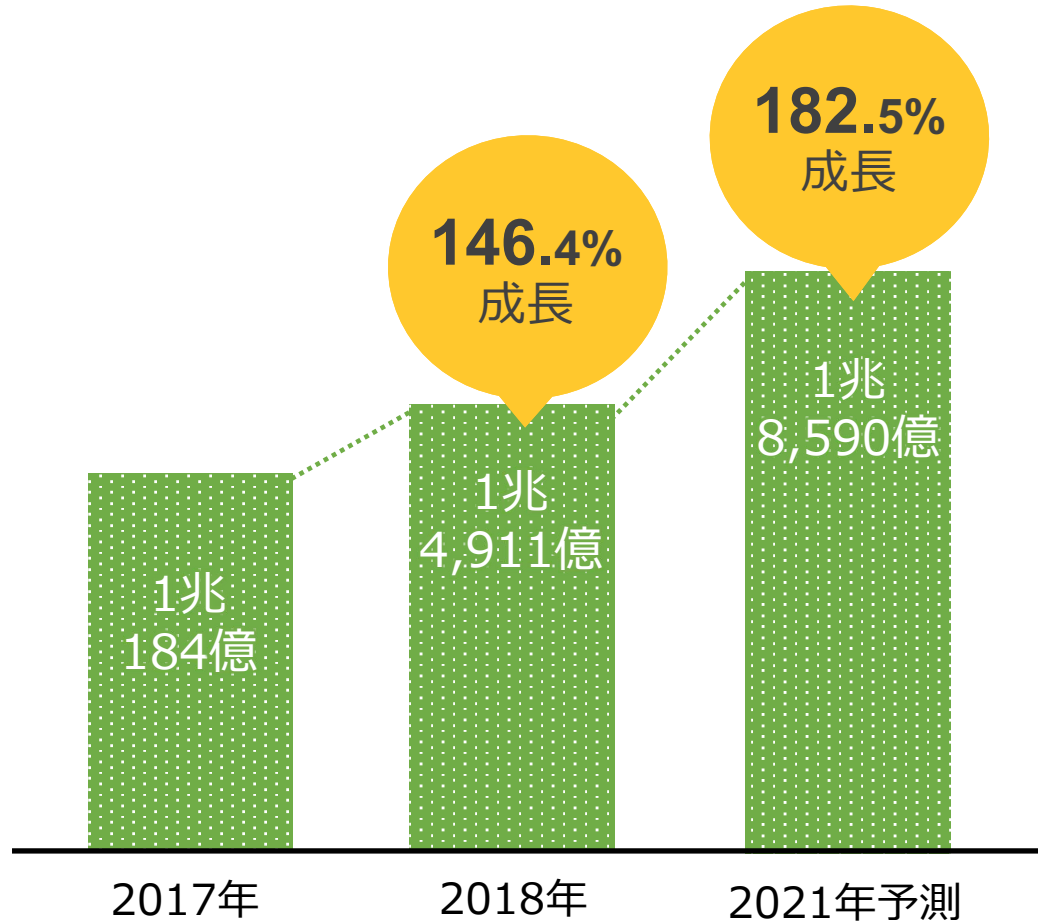
Growth Tool



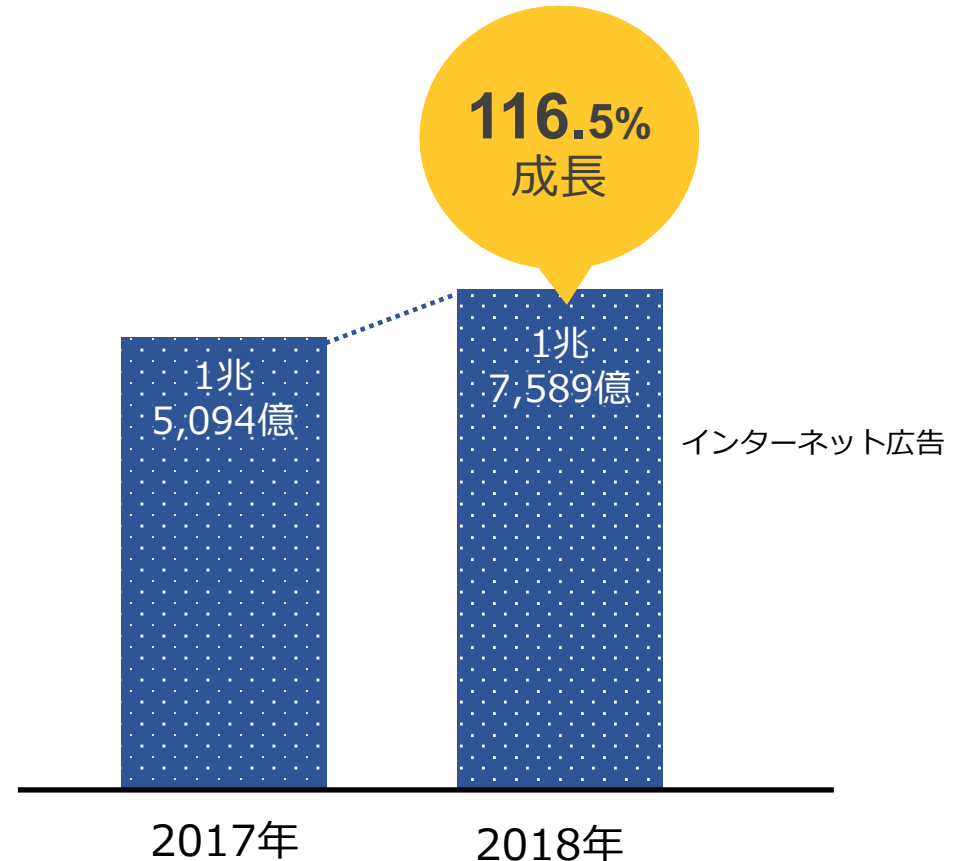
# 市場状況

ショーケースが注力するFinTech市場及びクラウドマーケティング市場

国内FinTech市場



国内マーケティング市場



矢野経済研究所調べ

「日本の広告費」(株)電通



## 中長期の成長戦略

- ✓ 中期的企業価値（時価総額）の向上と株主還元
- ✓ 収益性・成長性の高い分野への集中投資
- ✓ SHOWCASEコアバリューの徹底と浸透
- ✓ 企業ブランド認知向上のための積極的な情報発信

# 中長期の成長戦略

中核事業ではビジネスモデル変革を確立し、成長率の高い市場での事業拡大を行う。新規事業では、ビジネス環境の変化を捉え、ショーケースの強みを活かす収益構造を確立させる。

強化事業が成長ドライバーとなり利益が拡大

FY19

第二創業 本業回帰  
不採算事業等の整理  
リスク資産の圧縮

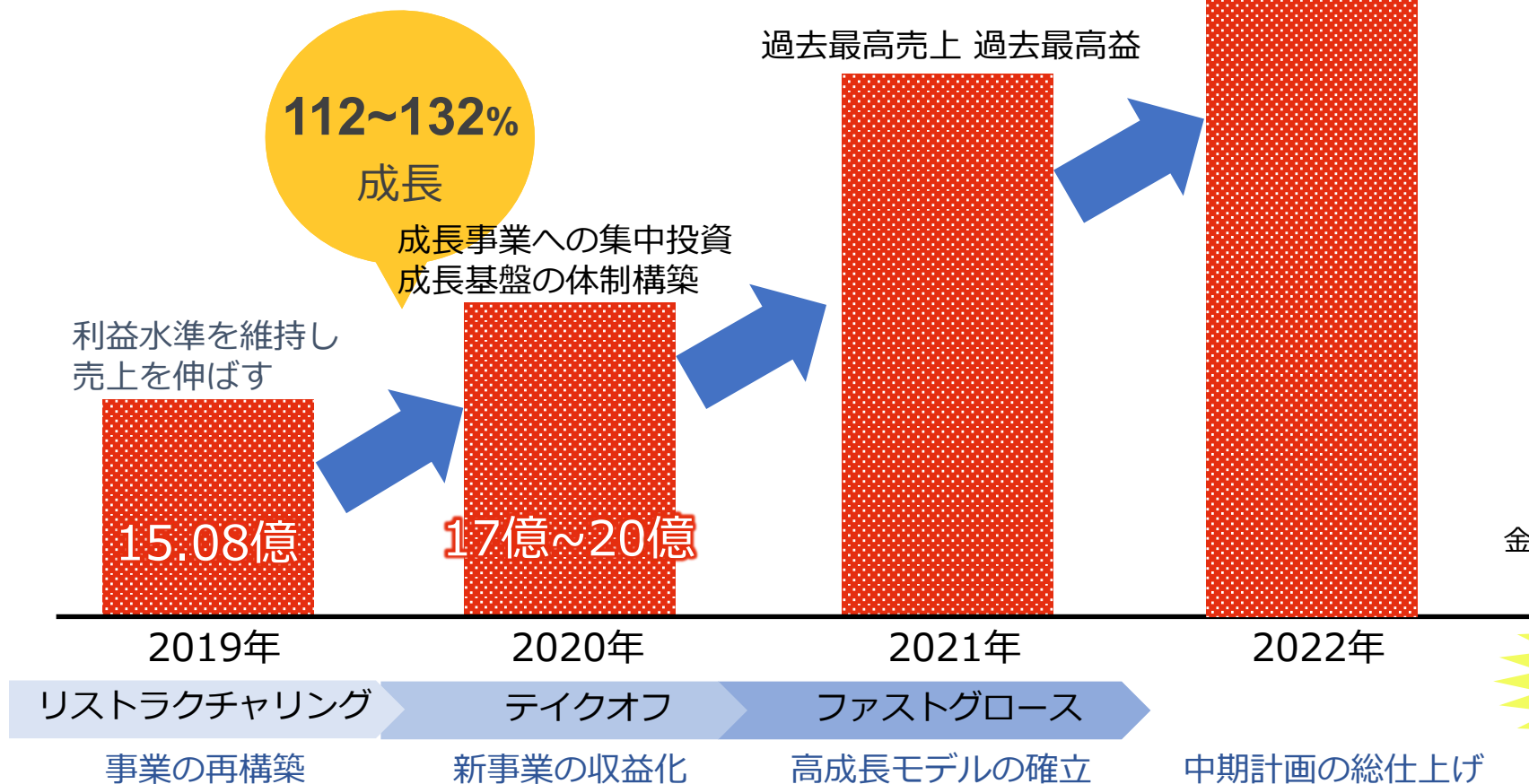
FY20~FY21

中核事業の成長拡大  
SaaSノウハウのDX展開  
投資支援プラットフォーム事業  
売上を二桁成長へ

FY22~

強化事業の収益拡大  
Fintech領域プロダクトのマネタイズ強化  
金融マーケティング分野のNO.1事業を創出する

時価総額300億円の達成  
(現在の6倍程度)



補足資料

# SERVICE LINEUP

Webサイトを 見やすく・わかりやすく・入力しやすく。

国内外において数々の特許を取得した独自のウェブサイト最適化技術によりWebサイトを「見やすく・わかりやすく・入力しやすく」するクラウドサービス（ASPサービス）を提供しています。インターネット通販、金融、人材サービス不動産業界など8,000を超える（2019年2月時点）Webサイトに導入いただいております。

集客から改善までトータルでサポート



SHOWCASE Ad  
インターネット動画広告メディア

bitWave  
スマホ専門情報メディア

ARVO  
大人がわいしいを目指す女性を応援

金融Lab  
お金に関わる情報をわかりやすく

GOLFサプリ  
毎日見るとゴルフに効く

マーケティング SaaS

Form Assist  
入力フォームを改善する EFO ツール

Site Personalizer  
ユーザーに適した接客を可能に

Form Converter  
入力フォームをスマホに最適化

Smartphone Converter  
PC サイトをスマホサイトに簡単最適化

セキュリティ対策

ProTech Mail Checker  
メールアドレスの存在をリアルタイムで確認

ProTech Licence Reader  
スマホで撮影した運転免許証情報を自動入力

ZEIJAX  
AI 機械学習による脆弱性診断サービス

ProTech ID Checker  
ProTech ID Checker

# 会社概要

---

商号	株式会社ショーケース (Showcase Inc.)
上場市場	東京証券取引所市場第一部 証券コード3909
本社	東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル 14F
設立	1996年2月1日 ※2005年11月、合併・商号変更
資本金	337,380千円 ※2019年12月31日 現在
発行済株式数	6,781,200 (1単元：100株) ※2019年12月31日 現在
従業員数	単体：78名 ※2019年12月31日現在
代表者	代表取締役社長 永田 豊志
経営ビジョン	「おもてなしテクノロジー」で、人を幸せにする
連結子会社	株式会社Showcase Capital

---





# 会社概要（子会社）



商号 株式会社Showcase Capital (Showcase Capital Inc.)

本社 東京都港区六本木1-9-9  
六本木ファーストビル 14F

設立 2017年8月8日

資本金 10,000 千円

代表者 代表取締役 永田 豊志

事業内容 投資家とスタートアップのマッチングプラットフォーム  
ベンチャーキャピタル投資、資金調達支援事業



# 導入実績企業一覧

## 金融

アクサダイレクト生命保険株式会社  
株式会社アプラス  
アフラック保険サービス株式会社  
イーデザイン損害保険株式会社  
株式会社イオン銀行  
株式会社SMBCモビット  
出光クレジット株式会社  
SBIカード株式会社  
株式会社SBI証券  
NTTファイナンス株式会社  
FXCMジャパン証券株式会社  
岡三オンライン証券株式会社  
株式会社オリエントコーポレーション  
株式会社外為どっとコム  
株式会社クレディセゾン

株式会社ジャパンネット銀行  
株式会社JALカード  
住信SBIネット銀行株式会社  
セゾン自動車火災保険株式会社  
株式会社セディナ  
セントラル短資FX株式会社  
多摩信用金庫  
東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
株式会社ビューカード  
株式会社マネーパートナーズ  
マネックス証券株式会社  
三井ダイレクト損害保険株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行  
ライフカード株式会社  
楽天証券株式会社

## EC

アサヒビール株式会社  
ELGC株式会社  
株式会社エービーシー・マート  
エスビー食品株式会社  
株式会社オークローンマーケティング  
オートックワン株式会社  
株式会社カインズ  
株式会社三陽商会  
株式会社千趣会

イオンリテール株式会社  
株式会社大丸松坂屋百貨店  
田中貴金属ジュエリー株式会社  
株式会社ドクターシーラボ  
日清食品株式会社  
株式会社ニッセン  
株式会社バイク王&カンパニー  
株式会社バンダイ  
株式会社フューチャーショップ  
マルコメ株式会社

## 人材

アデコ株式会社  
株式会社キャリアデザインセンター  
株式会社求人ジャーナル

株式会社パソナ  
株式会社文化放送キャリアパートナーズ  
株式会社リクルートキャリア

## 不動産

株式会社アパハウ  
株式会社いわき土地建物  
桂不動産株式会社  
東急リゾート株式会社

野村不動産アーバンネット株式会社  
株式会社ハウスメイトパートナーズ  
株式会社ライフル

## サービス・その他

株式会社i.JTB  
株式会社アイレップ  
株式会社アップル  
株式会社サイバーエージェント  
学校法人芝浦工業大学  
スカパーJSAT株式会社  
株式会社セプテーニ  
株式会社ツヴァイ  
株式会社東京ドーム  
株式会社東芝

トランスコスモス株式会社  
株式会社日本旅行  
株式会社博報堂  
株式会社阪急交通社  
株式会社フジドリームエアラインズ  
株式会社Platform ID  
株式会社ベネッセスタイルケア  
株式会社ミライト  
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

ほか、多数実績あり ※敬称略 五十音順

# 技術特許

入力フォームの最適化技術	日本	Japan	2010年02月 取得
スマートフォン表示の最適化技術	日本	Japan	2012年03月 取得
Webサイト内誘導の最適化技術	日本	Japan	2012年08月 取得
スマートフォン表示の最適化技術	アメリカ	USA	2012年10月 取得
スマートフォン表示の最適化技術	シンガポール	Singapore	2013年04月 取得
スマートフォン表示の最適化技術	ブルネイ	Brunei	2013年04月 取得
パーソナライズ化された誘導最適化技術	日本	Japan	2013年11月 取得
異なるWebサイトでフォームの自動入力技術	日本	Japan	2015年10月 取得
スマートフォン表示の最適化技術	マレーシア	Malaysia	2016年05月 取得
モバイル端末を使った個人情報の暗号化技術	日本	Japan	2016年07月 取得
入力レスでログインが可能となる認証処理技術	日本	Japan	2017年01月 取得

## 本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性があります。

ご了承ください。